

ISSN 0289-5544

龍谷大学

佛教文化研究所紀要

第 56 集

2017

大龍
学谷
佛
教
文
化
研
究
所
紀
要

第
五
十
六
集

平
成
三
十
年
三
月

BULLETIN
OF
RESEARCH INSTITUTE
FOR BUDDHIST CULTURE
RYUKOKU UNIVERSITY

No. 56

RESEARCH INSTITUTE FOR BUDDHIST CULTURE
RYUKOKU UNIVERSITY, KYOTO

2017

龍 谷 大 学

佛 教 文 化 研 究 所 紀 要

第 56 集

目次

指定研究

『教行信証』（文明本）の研究……………主任川添泰信……（一）

共同研究

東保流説教小考……………和田恭幸……（二〇）

共同研究

宗教関係法令の研究……………主任藤原正信……（三）

共同研究

近代仏教婦人会の興起とその歴史的意義……………中西直樹……（五〇）

第86回仏教文化講演会記録

親鸞聖人全撰述英訳に

かかわる仏典翻訳論

——浄土真宗本願寺派編 CNS 事業に従事して——

龍谷大学名誉教授・
元龍谷大学文学部教授

武田龍精……(六六)

個人研究

児童養護施設内心理療法士の職務調査

——生活担当職員の心理担当者に求める職務——

……森田喜治……(26)

共同研究

大宮図書館蔵イスラーム関係資料の研究

——イスラーム関係図書目録(稿)——

……主任近藤真美……(1)

研究所彙報
研究所規程
編集後記

前号目次

龍谷大学 佛教文化研究所紀要 第二五五集
二〇一六年

目次

共同研究 三業惑乱関連書籍の翻刻と註釈
……………主任 殿内 恒

常設研究 龍谷大学図書館所蔵の真宗古文獻の翻刻・研究
……………主任 龍溪 章 雄

第八十五回 仏教文化講演会記録

一切経伝播の鍵を握る経録
——近世写本『貞元録』から考える——
……………国際仏教学大学院大学学長 落合 俊 典

研究員報告

The Da amituo jing and the Guan
wuliangshoufo jing
…………… Yue XIAO

個人研究 大谷光瑞の提唱する「熱帯農業の奥義」
に關する農学的検証
……………玉井 鉄 宗

常設研究 仏教写本の総合的研究
……………主任 若原 雄 昭

共同研究 多田等観将来資料「釈尊絵伝」の研究
……………主任 能 仁 正 顕

彙報

平成二十九(二〇一七)年一月より平成三十(二〇一八)年三月までの本研究所の運営状況について以下その概況を記すこととする。

善本叢書として、『中世国語資料集(責任編集者藤田保幸氏 思文閣出版)』が出版され、仏教文化研究叢書として『仏教ジャーナルズ第一巻『反省会雑誌』とその周辺(責任編集者 赤松徹眞氏) 法藏館』が出版され、いずれも優れた研究成果をあげている。

第八十六回仏教文化講演会は、平成二十九(二〇一七)年十月に本学名誉教授・元文学部教授武田龍精氏より、「親鸞聖人全撰述英訳にかかわる仏典翻訳論―浄土真宗本願寺派編CWS事業して」をテーマに講演をいただいた。仏教文化セミナーは、後掲のとおり開催された。このセミナーは主に大学院生・一般を対象に、本研究所の研究について高度な研究成果の還元を行うことを目的としており、毎年二〜三回開講している。

平成二十九(二〇一七)年度の研究は、次に列記するように、指定研究二件(継続一・新規一)、共同研究五件(継続三、新規二)、常設研究三件(継続二・新規一)、特別指定研究三件(継続三)、そして個人研究一件(新規一)が設置され、合計十四件の研究組織が推進された。

◆運営会議・常任委員会報告

(一) 役員構成

第四十五期運営会議構成員(任期・平成二十九年四月一日〜平成三十年三月三十一日)

鍋島直樹(真宗学科)	能仁正顕(仏教学科)	郷式徹(仏教学科)	東豊(臨床心理学)	中川修(歴史学科・歴史学専攻)	安井重雄(日本語日本文学科)	藤本雅樹(英語英米文学部)	佐々木大悟(短期大学部)	道元徹心(理工学部)	杉岡孝紀(農学部)	田辺等(研究部事務部長)
鍋島直樹	能仁正顕	郷式徹	東豊	中川修	安井重雄	藤本雅樹	佐々木大悟	道元徹心	杉岡孝紀	田辺等
(真宗学科)	(仏教学科)	(仏教学科)	(臨床心理学)	(歴史学科・歴史学専攻)	(日本語日本文学科)	(英語英米文学部)	(短期大学部)	(理工学部)	(農学部)	(研究部事務部長)

(第十四条に定める事業部主任)

東 豊

(運営会議が選任する委員)

楠 淳 證

(運営会議が選任する委員)

中川 修

(仏教文化研究所事務室担当課長)

吉貞 正 流

② 平成二十九年第五回運営会議(三月十五日)

(水) 午後〇時三十分〜午後一時五分

① 二〇一七(平成二十九)年度 運営体制・運営

会議構成員について

運営会議構成員は前掲のとおり選出された。

② 二〇一七(平成二十九)年度 兼任研究員・客

員研究員・嘱託研究員について

提案どおり承認された。

(3) 平成二十九年第一回運営会議(四月十九日)

(水) 午後〇時三十分〜午後一時五分

① 二〇一七(平成二十九)年度 研究体制・役員

について

前掲のとおり承認された。

② 二〇一七(平成二十九)年度 兼任研究員等の

追加・取消・変更について

提案どおり承認された。

③ 二〇一七(平成二十九)年度 研究所予算につ

いて

提案どおり承認された。

- ④ 仏教文化研究所紀要第五十六集・所報第四十一号の執筆予定者について
提案どおり承認された。
- ⑤ 二〇一七(平成二十九)年度 仏教文化講演会・仏教文化セミナー・研究談話会の開催について
提案どおり承認された。

- ⑥ 二〇一六(平成二十八)年度 研究PJ研究年次経過報告書の評価について
提案どおり承認された。

- (4) 平成二十九年第二回運営会議(五月三十一日～六月六日) ※E-Mail 審議

- ① 二〇一六(平成二十八)年度 研究PJ年次経過報告書の評価について
提案どおり承認された。

- (5) 平成二十九年第三回運営会議(七月十九日(水) 午後〇時三十分～午後〇時五十分)

- ① 二〇一八(平成三十)年度 善本叢書・仏教文化研究叢書の出版助成募集について
提案どおり承認された。応募締切日：十月四日(水)

- (6) 平成二十九年第四回運営会議(十月十一日(水) 午後〇時三十分～午後一時十分)

- ① 二〇一八(平成三十)年度 出版助成(善本叢書・仏教文化研究叢書)の予算案について
左記のとおり承認された。

善本叢書 『顕浄土真実教行証文類』 文明本

川添泰信氏

彙報

仏教文化研究叢書 『近代日本宗教関係法令集成』

藤原正信氏

仏教文化研究叢書 『シリーズ近代日本の仏教』

ヤーナリズム第二巻 仏教婦人雑誌の創刊』

中西直樹氏

- ② 二〇一八(平成三十)年度 沼田奨学金(研究奨学金) 受給者の推薦審査および外国人客員研究員の任用について

エム・ワヒドゥザマン氏(バングラデシユ)、マイン・タルクダル氏(バングラデシユ)、スワン・リン氏(台湾)、デリップ・クマル・バルア氏(バングラデシユ)が推薦および任用された。

- ③ 二〇一五(平成二十七)年度 客員研究等の追加について
提案どおり承認された。

- ④ 二〇一七(平成二十九)年度 研究PJ研究年次経過報告書の評価について
(7) 平成二十九年第五回運営会議(二〇一八年一月十七日(水) 午後〇時三十分～午後〇時五十分)

- ① 二〇一七(平成二十九)年度 研究PJ研究年次経過報告書の評価について
提案どおり承認された。

- ② 龍谷大学善本叢書の「刊行の辞」について
提案どおり承認された。

- (8) 平成二十九年第六回運営会議(二〇一八年三月二日(金)～三月七日(水))

- ※E-Mail 審議

- ① 龍谷大学仏教文化研究所と中華佛學研究所間の学術研究交流促進に関する一般協定について
提案どおり承認された。

- ◆研究事業計画
平成二十九年の研究題目及び主査(代表者)は左記のとおりである。

- 一 指定研究―龍谷大学図書館所蔵貴重書の研究―

- (一) 『教行信証』(文明本)の研究(三年次)
主査 川添 泰信(真宗学科)

- (二) 龍谷大学図書館蔵蘆庵本歌合集の研究(二年次)
主査 安井 重雄(日本語日本文学科)

- 二 共同研究

- (一) 日本におけるチベット仏教文化の研究―多田等観の将来資料を中心に―(二年次)
主査 能仁 正顕(仏教学科)

- (二) 宗教関係法令の研究(二年次)
主査 藤原 正信(歴史学科・日本史学)

- (三) 仏教婦人会の研究(二年次)
主査 中西 直樹(歴史学科・仏教史学)

- (四) 仏教と聖地に関する総合的研究
―聖なる表象とは何か―(二年次)

主査 楠 淳證(仏教学科)

(五) 龍谷大学図書館蔵大谷文書の再整理と研究

(二年次)

主査 中田 裕子(農学部・食料農業)

システム学科)

三 常設研究

(一) 龍谷大学図書館蔵の真宗古文書の翻刻・研究(三年次)

主査 深川 宣暢(真宗学科)

(二) 仏教写本の総合的研究(三年次)

主査 若原 雄昭(仏教学科)

(三) 日本と東南アジアの仏教交流史(一年次)

主査 林 行夫(歴史学科・仏教史学)

専攻)

四 特別指定研究

(一) 大谷探検隊将来資料の総合的研究(西域文化研究会)

主査 入澤 崇(仏教学科)

(二) 大正新脩大藏經の学術用語に関する研究(大藏經学術用語研究会)

主査 道元 徹心(仏教学科)

(三) 仏教經典の翻訳と研究(仏典翻訳研究会)

主査 那須 英勝(真宗学科)

五 個人研究

(一) 『通俗仏教・世諺百話』の研究

東森 勲(英語英米文学科)

◆出版物案内

一 『仏教文化研究所所報』第四十一号(平成三十年三月二十三日刊)

内容 目次

研究ノート一

多田等観へ下賜された「釈尊絵伝」と未整理の関連資料に関する調査途中報告 岩田朋子

研究ノート二

Reusing Sheets of Tibetan Satushasrika-pañjāpīranita in Purbung Kazushi Iwao

二 『仏教文化研究所紀要』第五十六集(平成三十年三月三十日刊)

内容 目次 別掲

三 龍谷大学善本叢書三十三 『中世国語資料集』

(藤田保幸編 A5判 三三〇頁)

本体価格一八、七九二円)

仏教文化研究叢書三十五

近代日本の仏教ジャーナリズム第一巻

『反省会雑誌』とその周辺

(赤松徹真編 A5判 三三三頁)

本体価格六、四八〇円)

◆公開講演会開催

平成二十九年年度

第八十六回仏教文化講演会

日時 十月十九日(木) 午後三時〜午後四時

三十分

会場 大官学舎 清和館三階ホール

テーマ 親鸞聖人全撰述英訳にかかわる仏典翻譯論―浄土真宗本願寺派編CWS事業

に従事して―

講師 武田龍精氏(本学名誉教授・元本学文学部教授)

◆研究談話会開催

平成二十八年年度

一月二十六日(木) 午後一時十五分〜午後二時四十五分

十五分

第十六回研究談話会(藤田研究PJ)

会場 大官学舎西費二階大会議室

テーマ 有職故実と言語①官職名を詠む和歌

講師 佐藤 明浩氏(都留文科大学教授)

二月二十二日(水) 午後四時〜午後五時三十分

第十七回研究談話会(龍溪研究PJ)

会場 大官学舎北費一階一〇二教室

テーマ 小児往生をめぐる子との死別と自己の救済

講師 川本 佳苗氏(日本学術振興会特別

研究員DC)

二月二十三日(木) 午後三時〜午後四時三十分

第十八回研究談話会(道元研究PJ)

会場 大宮学舎清風館三階共同研究室一・

二

テーマ 宗教テキスト世界の再発見

―真福寺聖教調査から明らかにされる

中世仏教の知のネットワーク―

講師 阿部 泰郎氏(名古屋大学文学研究

科附属人類文化遺産テキスト学研究セ

ンターセンター長・教授)

二月十六日(木) 午後三時〜午後四時三十分

第十九回研究談話会(藤田研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ 有職故実と言語②(国語学と有職故実

講師 山東 功氏(大阪府立大学教授)

三月七日(火) 午後三時三十分〜午後五時

第二十回研究談話会(若原研究PJ)

会場 大宮学舎清風館三階共同研究室一・

二

テーマ 仏典梵文写本のチベットにおける借覧

状況について

講師 加納 和雄氏(高野山大学准教授)

※共催・世界仏教文化研究センター

後援・龍谷学会

三月八日(水) 午後一時〜午後二時三十分

第二十一回研究談話会(藤原研究PJ)

会場 大宮学舎清風館二階二〇四教室

テーマ 国家神道と宗教関係法令―特に国家神

道の受容基盤をめぐって―

講師 井之上大輔氏(筑紫女学園高等学校

教諭・筑紫女学園大学人間文化研究所

客員研究員)

三月十三日(月) 午後五時〜午後六時三十分

第二十二回研究談話会(和田研究PJ)

会場 大宮学舎南翼一階一〇二教室

テーマ 写本の勅化本の本文について―『明法

房物語』の場合―

講師 和田 恭幸氏(本学文学部教授)

三月十四日(火) 午後三時〜午後四時三十分

第二十三回研究談話会(近藤研究PJ)

会場 大宮学舎北翼一階一〇一教室

テーマ 龍谷大学大宮図書館「漢語イスラーム

文献」をめぐって―出版の経緯を中心

に―

講師 都築 晶子氏(本学名誉教授)

三月二十八日(火) 午後三時〜午後四時三十分

第二十四回研究談話会(道元研究PJ)

会場 大宮学舎清風館三階共同研究室一

テーマ 『阿弥陀経略記』について

講師 道元 徹心氏(本学理工学部教授)

平成二十九年年度

四月二十六日(水) 午後一時十五分〜午後二時四

十五分

第一回研究談話会(那須研究PJ)

会場 大宮学舎北翼二階二〇四教室

テーマ レイモン・パニカーと宗教間の対話・

クリスチャン・ヒンドゥー・ブダイス

トの立場から

講師 遊佐 道子氏(西ワシントン大学現

代・古典語学科教授)

司会 那須 英勝氏(本学文学部教授)

※共催・世界仏教文化研究センター

協力・アジア仏教文化研究センター

(BARC)

七月二十三日(日) 午後一時〜午後五時

第二回研究談話会(入澤研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ 「歓心十法界図」の研究―西夏とウイ

グルの事例を中心として

テーマ 西夏文によるいわゆる十法界図

講師 荒川慎太郎氏(東京外国語大学アジ

ア・アフリカ言語文化研究所准教授)

テーマ ウイグルにおける「歓心十法界図」の

諸相

講師 橘堂 晃一氏(本学仏教文化研究所

客員研究員・本学非常勤講師)

テーマ 『釈迦牟尼世尊絵伝』に描かれる「デ

ーヴァダッタ墮地獄」について

講師 岡本 健資氏(本学政策学部・准教

授)

※共催(宮治科研)中央アジア仏教美

術の研究」研究会

九月二十八日(木) 午後一時十五分〜午後二時四十五分

第三回研究談話会 (楠研究PJ)

会場 大宮学舎清風館三階共同研究室

テーマ 南方熊楠が見た聖なる表象―聖地那智山での体験とともに―

講師 唐澤 太輔氏 (本学世界仏教文化研究所 センターPD・本学仏教文化研究所 客員研究員)

テーマ 「越後の親鸞」像の形成と確立過程― 『御伝鈔』から近代へ―

講師 大澤 絢子氏 (本学世界仏教文化研究所 センターRA・本学仏教文化研究所 嘱託研究員)

※共催：世界仏教文化研究センター

十月五日(木) 午後一時十五分〜午後二時四十五分

第四回研究談話会 (楠研究PJ)

会場 大宮学舎清風館三階共同研究室

テーマ 参詣曼荼羅の時空間―立山曼荼羅における地獄表現の諸相―

講師 亀山 隆彦氏 (本学世界仏教文化研究所 センターRA・本学仏教文化研究所 客員研究員)

テーマ 仏教説話にみる海の表象―もう一つの聖地像―

講師 李 曼寧氏 (本学世界仏教文化研究所 センターRA・本学仏教文化研究所 客員研究員)

※共催：世界仏教文化研究センター

十月九日(月) 午後一時十五分〜午後四時三十分

第五回研究談話会 (那須研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ Japanese Scholarship on Chinese Sutras Engraved in Stone

講師 ローター・レダローゼ博士 (ハイデルベルグ大学・ハイデルベルク科学アカデミー主任教授)

センターRA・本学仏教文化研究所 嘱託研究員

テーマ 聖なる表象としての災害モニュメントと仏教者の役割

講師 金澤 豊氏 (本学世界仏教文化研究所 センターPD・本学仏教文化研究所 客員研究員)

※共催：世界仏教文化研究センター

十月九日(月) 午後一時十五分〜午後四時三十分

第五回研究談話会 (那須研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ Japanese Scholarship on Chinese Sutras Engraved in Stone

講師 ローター・レダローゼ博士 (ハイデルベルグ大学・ハイデルベルク科学アカデミー主任教授)

通訳 那須 英勝氏 (本学文学部教授)

テーマ 四川安岳茗山寺と密教柳趙教団

講師 孫 華氏 (北京大学文化遺産保護研究所 センター長・北京大学考古文博学院 教授)

通訳 李 曼寧氏 (本学世界仏教文化研究所 センターRA)

司会 那須 英勝氏 (本学文学部教授)

共催：世界仏教文化研究センター・公益財団法人仏教伝道協会

協力：アジア仏教文化研究センター

十月二十七日(金) 午後三時〜午後五時

第六回研究談話会 (安井研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ 近世歌合の諸問題

講師 神作 研一氏 (国文学研究資料館 研究部教授・本学仏教文化研究所客員研究員)

十二月二日(土) 午前九時三十分〜午後〇時十五分

第七回研究談話会 (能仁研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階二五三教室

テーマ 多田等観請「釈迦牟尼世尊絵伝」に描かれる「ムクラーターの物語」

講師 岡本 健資氏 (本学政策学部准教授)

テーマ 古代チベット支配下の敦煌とチベットの仏教

テーマ チベット族の牧民地区にある“Dsaug”祭り儀式について

講師 万徳 卡爾氏 (中国蔵学研究中心・社会経済研究所副研究員)

テーマ 清代における雍和宮の金瓶抽籤について

講師 孟 秋麗氏 (中国蔵学研究中心・歴史研究所副研究員)

講師 岩尾 一史氏 (本学文学部准教授)

テーマ 五世パンチェンラマ伝の翻訳とその資料価値について

講師 馮智氏(中国蔵学研究センター・歴史研究所副所長)

質疑応答・ディスカッション 武内 紹人氏(神戸市外国語大学名誉教授)

※世界仏教文化研究センター

十二月二日(土) 午後一時三十分〜午後四時三十分

五分

第八回研究談話会(若原研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階二五三教室

テーマ 『宝雲経』について

講師 ダムドゥル氏(中国蔵学研究センター長)

テーマ 『菩提道次第広論』における菩提心観について

講師 高 穎氏(中国蔵学研究センター・宗教研究所助理研究員)

テーマ 『大乘莊嚴経論』ゴル寺旧蔵貝葉について

講師 間中 充氏(本学大学院文学研究科研究生)

テーマ CTRCに所蔵のCatustotravivaraanaとその他の梵文写本について

講師 李 学竹氏(中国蔵学研究センター・研究員)

テーマ ネパール現存のデーヴァナーガリー文字音写のチベット語写本についての一

考察

講師 スダン・シャキヤ氏(種智院大学准教授)

テーマ 梵文で伝存するアバヤーカラグプタの著作

講師 加納 和雄氏(駒澤大学講師)

質疑応答・ディスカッション 桂 紹隆氏(広島大学名誉教授)

※世界仏教文化研究センター

十二月二日(土) 午後二時〜午後六時

第九回研究談話会(中田研究PJ)

会場 大宮学舎清風館共同研究室一・二

テーマ 唐代の社会と文化

報告者① 「唐代筆記所見靈異案件的審判」

報告者 趙 晶氏(中国政法大学副教授)

報告者② 「唐代におけるソグド人の行」

報告者 中田 裕子氏(本学農学部講師)

報告者③ 「大谷文書S291A」須大掣太子讚(擬)小考」

報告者 日本学術振興会 特別研究員PD 高井 龍氏(本学仏教文化研究所客員研究員)

コメントーター 岩尾 一史氏(本学文学部准教授)

十二月十五日(金) 午後六時〜午後七時三十分

第十回研究談話会(川添研究PJ)

会場 大宮学舎南翼二階二〇二教室

テーマ 『教行信証』存運本について

報告者 富島 信海氏(本学非常勤講師・浄土真宗本願寺派総合研究所研究助手)

※共催・アジア仏教文化研究センター(BARC)

十二月二十五日(月) 午後二時〜午後六時三十分

第十一回研究談話会(道元研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ 「従軍布教と宗教法令―日清・日露戦時における敵国軍死者の葬送・追悼―」

報告者 寺戸 尚隆氏(本学文学部非常勤講師)

テーマ 「宗教法令と陵墓」

報告者 池田 智文氏(本学文学部非常勤講師)

十二月十八日(月) 午後四時三十分〜午後六時

第十二回研究談話会(道元研究PJ)

会場 大宮学舎清風館三階共同研究室一・二

テーマ 『阿彌陀経略記』と天台における阿弥陀研究について

報告者 柳澤 正志氏(早稲田大学非常勤講師)

一月十九日(金) 午前十一時〜午後〇時三十分

第十三回研究談話会(入澤研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ 大谷光瑞師と台湾・逍遙園

―その建築空間と修復事業を中心とし

てー

報告者 黄 朝煌氏 (新潟大学現代社会文化
研究科客員研究員・前国立高雄大学助
理教授)

一月二十六日(金) 午後一時十五分〜午後二時四
十五分

第十五回研究談話会 (那須研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ Buddhist Nuns' Lives and Roles in
Modern Myanmar

現代ミャンマーにおける女性出家者の
生活と役割

報告者 Thisar Nandi (ティサ・ナンディ)
師 (京都大学大学院アジア・アフリカ
地域研究研究科・(ASAFAS)研究生)

司会 那須 英勝氏 (本学文学部教授)

通訳 川本 佳苗氏 (本学大学院文学研究
科研究生)

※共催：世界仏教文化研究センター

協力：アジア仏教文化研究センター

(BARC)

二月二十日(火) 午後一時十五分〜午後二時四十
五分

第十八回研究談話会 (那須研究PJ)

会場 大宮学舎清風館三階共同研究室1

テーマ 「聖人伝」としての親鸞伝の可能性と
役割―新たな分析方法と伝記理解に向

けてー

報告者 リュウシュ・マルクス氏 (ベルリン
自由大学歴史文化学部・東アジア研究
所日本学科研究生)

※共催：世界仏教文化研究センター
協力：アジア仏教文化研究センター

(BARC)

二月二十日(火) 午後四時四十五分〜午後六時十
五分

第十四回研究談話会 (深川研究PJ)

会場 大宮学舎北翼一階一〇六教室

テーマ 小児往生と追善回向について

報告者 北塔 光昇氏 (本願寺派中央仏教学
院長)

二月二十二日(木) 午後三時〜午後五時

第十六回研究談話会 (安井研究PJ)

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ 蘆庵本歌合の伝本の位置―大治三年住
吉社歌合、建久六年民部卿家歌合な
ど―

報告者 安井 重雄氏 (本学文学部教授)

テーマ 源 俊頼と歌合

報告者 鈴木 徳男氏 (相愛大学人文学部教
授)

二月二十八日(水) 午後一時十五分〜午後二時四
十五分

第十七回研究談話会 (楠研究PJ)

会場 大宮学舎清風館B-103

テーマ 聖地研究の切り拓くもの
報告者 鎌田 東二氏 (上智大学グリーンフケ
ア研究所特任教授)

※共催：世界仏教文化研究センター
三月七日(水) 午後三時〜午後五時

第十九回研究談話会 (藤原研究PJ)

会場 大宮学舎西翼三階小会議室

テーマ 「国体」と国体論

報告者 嘉戸 一将氏 (本学文学部准教授)

◆仏教文化セミナー開催

平成二十九年度

六月三十日(金) 午後二時四十五分〜午後六時三
十分

第二十五回仏教文化セミナー

会場 大宮学舎本館二階講室

大谷光瑞研究をめぐる諸問題―旅順
博物館開設100周年にあたって―

学長挨拶 入澤 崇氏 (本学学長・
本学文学部教授)

趣旨説明・登壇者紹介 三谷 真澄氏
(本学国際学部教授)

テーマ 「旅順博物館所蔵の仏教文物」(通訳含
む)

講師 王 振芬氏 (旅順博物館館長)

通訳 徐 光輝氏 (本学国際学部教授)

テーマ 「大谷光瑞師の都市計画について」

講師 掬月 誓成氏 (別府大谷記念館副館長)

質疑応答

閉会挨拶 能仁 正顕氏 (本学仏教文化研究所長・本学世界仏教文化研究センター長・本学文学部教授)

※共催：世界仏教文化研究センター

アジア仏教文化研究センター

(BARC)

七月十四日(金) 午後一時三十分～午後五時三十分

分

第二十六回仏教文化セミナー

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ 近代仏教婦人会の興起とその歴史的意義

義

講師 中西 直樹氏 (本学文学部教授)

テーマ 小野島行薫の関東開教と上毛婦人教育

会

講師 岩田 真美氏 (本学文学部准教授)

テーマ 相愛女学校創設と大阪婦人会の動向

講師 近藤俊太郎氏 (本学仏教文化研究所客員研究員・本学非常勤講師)

※共催：アジア仏教文化研究センター

(BARC)

龍谷学会

七月二十七日(木) 午後一時十五分～午後二時四十分

十五分

第二十七回仏教文化セミナー

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ 釈尊の出家動機―仏伝における「四門出遊」の成立―

講師 天野 信氏 (本学仏教文化研究所客員研究員・本学非常勤講師)

※共催：世界仏教文化研究センター

龍谷学会

七月三十一日(月) 午後〇時五十分～午後五時四十分

第二十八回仏教文化セミナー

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

テーマ 日本仏教によるアジア布教史概観

講師 中西 直樹氏 (本学文学部教授)

テーマ 財団法人朝鮮仏教団の留学生派遣と宗

教民族学者の金孝敬

講師 大澤 広嗣氏 (文化庁文化部長宗務課専門職)

テーマ 真宗本願寺派関東別院の活動と終焉

講師 野世 英水氏 (本学非常勤講師)

テーマ 戦前期日本仏教のシンガポール布教

講師 中西 直樹氏 (本学文学部教授)

※共催：アジア仏教文化研究センター

(BARC)

龍谷学会

十一月十七日(金) 午後一時三十分～午後六時

第二十九回仏教文化セミナー

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

開会挨拶・趣旨説明 林 行夫氏 (本学文学部教授)

研究叢書の刊行状況(報告) 中西 直樹氏 (本学文学部教授)

基調講演

テーマ 近代仏教の時代のすれちがい―戦前、戦中の日本で刊行された仏教雑誌、書籍にみるカンボジア関連記事―

講師 笹川 秀夫氏 (立命館アジア太平洋大学教授)

質疑応答・司会 林 行夫氏 (本学文学部教授)

コメントーター 中西 直樹氏 (本学文学部教授)

総合討論・司会 林 行夫氏 (本学文学部教授)

※共催：アジア仏教文化研究センター

(BARC)

龍谷学会

二〇一八年一月三十日(火) 午後一時三十分～午後四時五十分

第三十回仏教文化セミナー

会場 大宮学舎西翼二階大会議室

開会挨拶・司会 中西 直樹氏 (本学文学部教授)

テーマ 京都における真宗婦人諸団体の動向

一令徳会と『婦人世界』の前夜から一

講師 吉岡 諒氏 (本学非常勤講師)

テーマ 大谷派東京貴婦人会からの婦人法話会へ

講師 碧海 寿広氏 (本学アジア仏教文化研究センター博士研究員)

テーマ 明治期の本願寺派学校制度―高輪大学研究プロジェクト始動に向けて―

講師 中西 直樹氏 (本学文学部教授)

※共催・龍谷学会

二月二十四日(土) 午後一時三十分〜午後五時三十分

十分

第三十一回仏教文化セミナー

会場 大宮学舎西翼三階小会議室

開会挨拶・司会 林行夫氏 (本学文学部教授)

テーマ タイの仏教寺院における社会福祉機能の実態

報告者 講師 安藤 徳明氏 (淑徳大学アジア国際社会福祉研究所プログラム研究員)

テーマ タイと日本の仏教は対話できるか?

報告者 講師 神田 英昭氏 (高野山真言宗僧侶)

コメンテーター 村上 忠良氏 (大阪大学大学院教授)

総合討論 司会 林 行夫氏 (本学文

学部教授)

※共催・アジア仏教文化研究センター (BARC)

学部教授)

◆二〇一七年度 外国人客員研究員記録

イムレ・ガランボス (ハーバード大学)

エルダール・キュチュキユナルチュン (トルコ日本研究学会理事)

王 振芬 (旅順博物館副館長)

コンカロータナラック・プラポンサック (タイ国タンマガーイ寺院大阪別院住職)

ザイレ・フロリアン (カリフォルニア大学バークレー校非常勤講師・興福寺僧侶)

肖 越 (佛教大学総合研究所特別研究員)

P・ツイーメ (ベルリンIIブランドenburg学術アカデミー)

スタン・シャキヤ (種智院大学准教授)

ダンドウル (中国蔵学研究中心副所長)

ダニエルG・フレドリック (マクマスター大学宗教学部 大学院研究員)

チャールズ・ハリシー (ハーバード大学神学学部教授)

張 希清 (北京大学中古史研究中心教授)

デニス・ヒロタ (本学研究フェロー)

ディワカル・アーチャールヤ (京都大学大学院文学研究科教授)

トーマス・シーハン (スタンフォード大学教授)

関 丙勲 (韓国国立中央博物館館員)

S・ランゲン (Göttingen Academy of Sciences)

羅 鴻 (中国蔵学研究中心副研究員)

李 学竹 (中国蔵学研究中心研究員)

李 光溶 (韓国東西心理学研究所長・法華精舎研究顧問)

李 際寧 (中国国家図書館善本部副主任)

李 濟滄 (南京師範大学講師)

李 美香 (東国大学校講師)

劉 安志 (武漢大学中国三至九世紀研究所教授)

劉 廣堂 (大連市現代博物館館長)

劉 梅玲 (本学非常勤講師)

C K, レック (Göttingen Academy of Sciences)

◆二〇一八年度龍谷大学沼田奨学金研究奨学金

受給者及び外国人客員研究員

氏 名 エム・ワヒドゥザマン氏

(Bangladesh) Bangladesh 国立ノアカリ科学技術大学副学長)

研究課題 明治維新および以後の時代における近代的教育制度の発展に日本仏教が果たした役割

指導教授 若原 雄昭 文学部教授

研究期間 二〇一八年六月五日〜二〇一八年七月四日

氏 名 マイナ・タルクダル氏

(バングラデシュ バングラデシュ国立
ダッカ大学人文学部サンスクリット学
科・准教授)

研究課題 ヒンドゥー教が日本仏教に与えた影響の

研究

指導教授 若原 雄昭 文学部教授

研究期間 二〇一八年六月五日～二〇一八年七月四日

氏 名 スアン・リン 氏

(台湾 国立政治大学宗教研究所・博士
研究員(候補者))

研究課題 清弁著『般若灯論』のチベット訳と漢訳

間に見られる「無自性」概念の比較

指導教授 若原 雄昭 文学部教授

研究期間 二〇一八年六月十五日～二〇一八年八月
十五日

氏 名 デリッパ・クマル・バルア 氏

(バングラデシュ バングラデシュ国立ダ
ッカ大学パリー学仏教学科・教授)

研究課題 浄土真宗の寺院生活についての研究

指導教授 高 満也 国際学部教授

研究期間 二〇一八年六月五日～二〇一八年七月四日

仏教文化研究所規程

設立 一部改正

昭和三十六年 四月一日
昭和六三年 一月一日
平成四年 一月一六日
平成六年 六月九日
平成十一年 二月二五日
平成十三年 九月二七日
平成十四年 五月一六日
平成十五年 七月五日
平成十九年 四月一日
平成二十四年 四月一日

第一章 総 則

(目的)

第一条 この規程は、龍谷大学学則第七〇条に定める
仏教文化研究所(以下「仏文研」という。)について、
その組織及び運営等必要な事項を定めることを目的
とする。

(所在地)

第二条 仏文研は、龍谷大学大宮学舎内に置く。

(仏文研の目的)

第三条 仏文研は、仏教文化及びその関連領域に関す
る総合的学術研究並びに国際的研究交流を行い、も
つて学術研究の向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第四条 仏文研は、前条の目的を達成するために次の
事業を行う。

- (1) 仏教文化及びその関連領域に関する研究・調査
管理
- (2) 研究・調査に必要な図書・資料及び情報の収集

- (3) 紀要、叢書、所報等研究成果の刊行
- (4) 研究会、公開講座、講演会等の開催
- (5) 国内外の大学及び研究機関との研究交流
- (6) その他前条の目的を遂行するために必要な事業

第二章 運営会議

(運営会議)

第五条 仏文研に、重要な事項について審議・決定す
るため、仏教文化研究所運営会議(以下「運営会議」
という。)を置く。

二、次の各号に掲げる事項は、運営会議において決定
すること。

- (1) 事業計画に関すること。
- (2) 研究所予算に関すること。
- (3) 指定研究、研究プロジェクトの設置・廃止に関
すること。
- (4) 研究員及び委託研究員の受入れに関すること。
- (5) その他仏文研における重要な事項

(構成)

第六条 運営会議は、次の各号に掲げるもので構成す
る。

- (1) 所長及び副所長 七名
- (2) 文学部教授会が選任する者 一名
- (3) 短期大学部教授会が選任する者 若干名
- (4) 学長が指名する者 若干名
- (5) 専任研究員
- (6) 研究部事務部長

二、前項第二号、第三号、第四号及び第五号による者
の任期は、一年とする。ただし、再任を妨げない。

(招集)

第七条 運営会議は、所長が必要と認める都度招集し、
所長は会議の議長となる。

(定足数等)

第八条 運営会議は、構成員の過半数の出席により成
立し、議事は出席者の過半数の同意により決定する。

第三章 組 織

(部の設置)

第九条 仏文研に研究調査部及び事業部を設ける。

二、研究調査部は、第四条に規定する事業のうち、研
究及び調査並びに各指定研究及び各研究プロジェク
トの推進・調整に関する事業を分担する。

三、事業部は、第四条に規定する事業のうち、資料の
収集・整理及び研究成果の公刊並びに研究交流等に
関する事業を分担する。

(指定研究)

第一〇条 仏文研に、特定の課題を研究する指定研究
を置く。

(研究プロジェクト)

第一一条 仏文研に、常設研究プロジェクト・特別指
定研究プロジェクト及び時限研究プロジェクトを置く。
二 常設研究プロジェクトは、次のとおりとする。

- (1) 真宗学研究プロジェクト
 - (2) 仏教学研究プロジェクト
 - (3) 仏教史学研究プロジェクト
- 三、特別指定研究プロジェクトは、次のとおりとする。
- (1) 西域文化研究会
 - (2) 仏典翻訳研究会
 - (3) 大蔵経学術用語研究会

(附属研究センター)

第一二条 仏文研に設置する指定研究及び研究プロジ
ェクトは、研究の活性化・高度化を推進するために
運営会議が必要と認める場合「付属研究センター」
を呼称することができる。

二、付属研究センターの運営等については別途に定め
る。

第四章 職員組織

(所長、副所長)

第一三条 仏文研に、所長及び副所長各一名を置く。
二、所長は、仏文研の業務を統括し、仏文研を代表する。

三、副所長は、所長を補佐し、所長事故ある時はその職務を代理する。

四、所長及び副所長は、運営会議の推薦する者に対して、所長が任命する。

五、所長及び副所長の任期は、二年とする。ただし、再任を妨げない。

(主任)
第一四条 第九条に定める部に、主任各一名を置く。
二、主任は、各部の業務を調整処理する。

三、主任は、本学(短期大学部を含む。以下、同じ。)の専任教育職員の内から、運営会議において選任する。(主査)

第一五条 第一条に定める研究プロジェクトには、それぞれ主査一名を置く。
二、主査は、当該研究プロジェクトを主宰し、その活動を調整推進する。

三、主査は、本学専任教育職員の内から、運営会議において選任する。

(常任委員会)
第一六条 運営会議の決定事項の執行及び委任事項の処理並びに日常業務の連絡・調整を図るため、所長のもとに常任委員会を置く。

二、常任委員会は、次の各号の者で構成する。

(1) 所長及び副所長

(2) 第一四条に定める主任

(3) 運営会議が選任する者 若干名

(4) 仏文研課長

三、常任委員会には、必要に応じて主査を加えることができる。

第五章 研究員

(研究員)
第一七条 仏文研に、次に掲げる研究員を置く。

(1) 専任研究員
(2) 兼任研究員
(3) 客員研究員
(4) 嘱託研究員

(専任研究員)
第一八条 専任研究員は、仏文研に所属する専任教育職員で、専ら研究・調査に従事する者をいう。

二、専任研究員の任用については、別に定める。(兼任研究員)

第一九条 兼任研究員は、仏文研の活動に参加する本学の専任教職員をいう。

二、兼任研究員は、所長が候補者を推薦し、学長が委嘱する。ただし、その候補者が専任教育職員である場合は、その候補者の所属する教授会の承認を得るものとする。

三、専任教職員は所長に対して、兼任研究員となることを願出ることができるものとする。

四、兼任研究員の任期は、一年間又は二年間とする。ただし、再任を妨げない。

(客員研究員)
第二〇条 客員研究員は、学外の研究者でその身分のまま一定期間仏文研に所属して、研究・調査活動に従事する者をいう。

二、客員研究員は、所長が候補者を推薦し、運営会議の承認を経て、学長が委嘱する。(嘱託研究員)

第二一条 嘱託研究員は、前三条に規定する以外の者で仏文研の活動に参加する者をいう。

二、嘱託研究員の任用は、前条第二項の規定を準用する。(受託研究員)

第二二条 仏文研は、受託研究員を受入れることができる。

二、受託研究員を受入れについては、別に定める。

第六章 補 則

(事務)
第二三条 仏文研に、仏文研の事務を処理するため仏文研事務室を置く。

二、仏文研事務室に、必要な事務職員を置く。(改廃)

第二四条 この規程の改正又は廃止は、運営会議の発議により大学評議会において決定する。

付 則 一、この規程は、昭和六三年一月一日から施行する。

二、この規程の施行に伴い、従前の龍谷大学仏教文化研究所規程(昭和六三年四月一日施行)は、廃止する。

三、この規程施行当初の所長は、第二二条の規定にかかわらず従前の規定による所長がたるものとし、運営会議は、第六六条の規定にかかわらず従前の規定による協議委員を以て構成するものとする。

付 則 (平成四年一月一六日題名、第一条改正)
この規程は、平成四年一月一六日から施行する。

付 則 (平成六年六月九日第六六条改正)
この規程は、平成六年六月九日から施行する。

付 則 (平成一年一月二五日第一条改正)
この規程は、平成一年一月二五日から施行する。

付 則 (抄)平成三年四月二七日第六六条改正
この規程は、平成三年四月二七日から施行する。

付 則 (平成四年五月一六日第六六条改正)
この規程は、平成四年五月一六日から施行する。

付 則 (平成一年五月一五日第一条改正)
この規程は、平成一年五月一五日から施行する。

一、この規程は、平成一年四月一日から施行する。

二、この規程の施行に伴い、現に、仏教文化研究所事務室事務長にある者は、この規程による課長とみなす。

付 則 (平成一九年七月五日第二二条新設、第二三条以下線下、第一六条改正)
この規程は、平成一九年七月五日から施行する。

付 則 (平成二四年三月一日第五二条、第六六条、第九一条、第一一条、第一二条、第一六条改正)
この規程は、平成二四年四月一日から施行する。

編集後記

『佛教文化研究所紀要』第五十六集をお届けいたします。一九六二年の第一集刊行以来、五十六年の時が流れました。その間、実に多くの皆様に支えられて、数々の研究論文、研究報告、講演会記録、座談会記録等を発信してきました。今後は、仏教文化研究所が世界仏教文化研究センターに統合されるのを機に、本誌も今集をもちまして終刊となります。そして、装いも新たに「世界仏教文化研究センター紀要」（仮称）として発刊される予定です。新東甕の完成も含めて、大宮学舎の歴史に新たなページが加えられることになり大慶の至りです。皆様には、引き続き世界仏教文化研究センターの発展にさらなるご協力、ご支援をいただければ幸いです。皆様には、引き続き世界仏教文化研究センターの発展にさらなるご協力、ご支援をいただければ幸いです。皆様には、引き続き世界仏教文化研究センターの発展にさらなるご協力、ご支援をいただければ幸いです。

なお、本最終集には、平成二十九年年度の研究成果として、指定研究一点、共同研究四点、個人研究一点、仏教文化講演会記録一点を掲載することが出来ました。ご執筆およびご講演いただきました先生方には、心より御礼申し上げます。その他、仏教文化セミナー、研究談話会などにご尽力いただきました先生方にも厚く御礼申し上げます。

次に、多年にわたり仏教文化研究所の全般的な業務に携わってこられました中嶋一博氏にバトンを経て、これまでの同研究所の沿革についてご紹介いただくことにしたいと思います。

仏教文化研究所は、本学の附置研究所のひとつとして、一九六一年四月に開設し、二〇一一年には創設五十周年を迎え、七月八日（金）に「仏教の未来」をテーマに「創設五十周年記念講演会」を開催するなどして、今年度三月をもちまして、五十六年間に幕を閉じることになりました。本研究所は、初代増山所長から第二十七代能仁所長まで、毎年、兼任研究員、客員研究員の方々が、指定研究、共同研究、常設研究、特別指定研究の約十二〜十三研究プロジェクトに所属し、研究代表者により各研究員が「研究の目的」及び「研究計画」などをもとに二年または三年間の研究活動をされました。また、個人研究の場合もひとりの兼任研究員一〜二名が、一年間の研究活動をされました。

開設当時は、指定研究、共同研究、個人研究の各研究種別には、文学部の専門科目担当の先生方に限らず、一般教育科目担当及び他学部の先生が研究代表者を担当された形跡もありました。そして、研究活動に尽力されました各研究プロジェクトなどの研究成果としては、本学図書館蔵の貴重書の研究・出版となりました指定研究の『龍谷大学善本叢書（現在、第三十三卷刊行）』を筆頭に、『龍谷大学仏教文化研究叢書（現在、第三十五卷刊行）』、『龍谷大学佛教文化研究所紀要（第五十六集終刊）』、『龍谷大学佛教文化研究所所報（第四十一号終刊）』があり、また、仏教文化講演会、仏教文化セミナー、研究談話会を開催しました。仏教文化講演会では、各研究プロジェクトの研究員に限らず、本学学部生及び大学院生並びに一般の方々も多く出席いただいております。

本研究所は、二〇一八年四月からは、二〇一五年四月に開設しました世界仏教文化研究センターに統合され、（仏教文化研究所）各研究員の方々は、①基礎研究部門常設研究班（親鸞浄土教総合研究班）・「古典籍・大蔵経総合研究班」・「西域総合研究班」・「仏教史・真宗史総合研究班」②基礎研究部門特定公募研究班（共同研究・個人研究）③応用研究部門人間・科学・宗教オーブン・リサーチセンター・萌芽的公募研究（共同研究・個人研究）④国際研究部門に所属し、新たに研究活動を始め、各研究部門から研究成果を順次発揮されていきます。

なお、当該紀要は、この第五十六集をもちまして終刊となります。これまでご執筆いただきました皆様には深く感謝申し上げます。また、発行（一九六二年六月）から五十六年もの間、絶大なご支援をいただきましたことを、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

（藤本・中嶋記）

佛教文化研究所紀要

第56集

平成30年3月23日 印刷

平成30年3月30日 発行

編集者 佛教文化研究所
代表者 能仁正 願

印刷者 永田文昌堂印刷部

発行所 龍谷大学 佛教文化研究所

〒(600-8268) 京都市下京区七条通り
大宮東入ル大工町125-1
龍谷大学 内
Tel 075-343-3311 内線 5400
Fax 075-343-4022

CONTENTS

Articles:

- A Study of the Bunmei Edition of the *Kyōgyōshinshō*
.....Taishin KAWASOE.....(1)
- A Study of *Fushidan-sekkyō (TOBORYU)*
.....Yasuyuki WADA.....(20)
- Study of Laws and ordinances related to religion
.....Masanobu FUJIWARA.....(31)
- The Movement of Buddhist Women's Associations in modern Japan
.....Naoki NAKANISHI.....(50)
- Survey on Psychotherapists' Coverage in Foster homes: Coverage that Staff
Talking Care of Children in Foster homes Expect from a Psychotherapist
.....Yoshiharu MORITA.....(26)
- A Survey of the Manuscripts and the Books on Islam in Omiya Library,
Ryukoku University: a Draft Catalogue
.....Manami KONDO.....(1)

Lecture:

- Some Reflections on English Translation of Buddhist Scriptures
— in the light of the *Collected Works of Shinran* —
.....Ryusei TAKEDA.....(66)